

授業科目 徒手理学療法学

【担当教員名】 亀尾 徹		対象学年	3・4	対象学科	理学
		開講時期	後期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎		◎		◎	
【概要・一般目標：G10】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 徒手理学療法に必須である臨床推論について習得する。 2. 徒手理学療法に関する定義、概念、理論を理解し、基本技術を習得する。 3. 臨床推論過程と知識・技術を結びつけ、臨床応用可能なクリニカルパターンを構築する。 					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 徒手理学療法の歴史及び基本概念を説明できる。 2. 徒手理学療法に関わる基本的な知識を説明できる。 3. 臨床推論の概要を説明できる。 4. 基本的評価・治療手技について説明することができる。 5. 各種治療コンセプトの基本概念と治療展開について説明することができる。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	授業概要・総論～臨床推論総説			1～3	講義
2	臨床推論と評価			1～3	講義
3	関節モビライゼーションテクニック（1）			2～5	講義・デモンストレーション
4	関節モビライゼーションテクニック（2）			2～5	講義・デモンストレーション
5	徒手理学療法におけるスタビライゼーションテクニック（1）			2～5	講義・デモンストレーション
6	徒手理学療法におけるスタビライゼーションテクニック（2）			2～5	講義・デモンストレーション
7	脊柱に対するマリガンテクニック			2～5	講義・デモンストレーション
8	末梢関節に対するマリガンテクニック			2～5	講義・デモンストレーション
【使用図書】		<書名>		<著者名>	
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		マニュアルセラピーに対するク リニカルリーズニングのすべて		Mark A. Jones, Darren A. Rivett, 亀 尾 徹監訳 他	協同医書 2010・10,000円＋税
		マリガンのマニュアルセラピー		Brian R Mulligan, 藤縄理, 赤坂清和, 亀尾徹監訳	協同医書 2004・2,800円＋税
その他の資料		配付資料			
【評価方法】 出席、授業態度、定期試験			【履修上の留意点】		